

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	住宅需給構造小委員会	主 査 名：伊藤 史子 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：石坂 公一 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅需要：高齢化・少子化・ライフスタイルの多様化にともなう需要変化の概念整理 (2013-14) ・住宅供給：事例整理および需要との対応整理 (2013-14)、 ・住宅需給と政策：需要と供給の時空間分析を経て政策的知見の整理 (2014-15) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：	
	伊藤史子 (首都大学東京)、加納国雄 (元都市再生機構)、木内望 (国土技術政策総合研究所)、讃岐亮 (首都大)、橘田洋子 (シトラス)、志岐祐一 (日東設計事務所)、瀬川祥子 (N E X C O 東日本) 生田目裕 (東京都宅地建物取引業協会)、温井達也 (プレイスメイキング研究所)、藤岡寛 (横浜国立大学)、松本真澄 (首都大)、水村容子 (東洋大)、米野史健 (建築研究所)、頼あゆみ (国土交通省)、吉川徹 (首都大)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 住宅需要の概念整理の一環として海外の住宅需要に関する調査をまとめ公表した。 2. 大会オーガナイズドセッションを企画運営し、住宅需要と供給に関する理論整理を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 遠隔地からの委員が多いため作業部会形式または web 会議形式を検討していきたい。